

第4回松本市新庁舎建設市民懇話会会議録

1 開催日時

平成30年5月19日（土） 午前10時15分～12時20分

2 開催場所

市役所本庁舎3階 大会議室

3 出席委員

河西 史郎委員、倉澤 聡委員、坂井田 金一委員、下笹 玲奈委員、
高倉 万記子委員、田下 光委員、田邊 愛子委員、土屋 澄彦委員、
西村 昭太委員、福嶋 良晶委員、松山 紘子委員、宮澤 信委員、
武者 忠彦委員、村山 忠勇委員

4 欠席委員

佐藤 人実委員、寺内 美紀子委員、萩原 梢委員、前田 紳一委員、
松尾 朗子委員、渡邊 幸夫委員

5 事務局出席者

山内政策部長、小西政策課長、宮尾課長補佐、加島主査、大日向主任

6 結果概要

(1) 開会

(2) 議事

ア 第3回市民懇話会の会議内容の確認

イ 松本市役所新庁舎建設基本構想骨子（案）について

ウ 市民への周知及び意見の募集について

(会 長) まず、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 新庁舎建設基本構想（案）、市民への周知及び意見の募集について説明

(会 長) 各委員の意見を伺う。

(委 員) 骨子について2点お願いがある。まず、規模の考え方だが、規模縮小が前提になっているが、事務の分散、各地区へのセンターへの移行などでどの程度縮小できるのか。機能的にどうなのかを市で検討してほしい。2回の説明会はあったが、参加者が少なかったのが非常に残念。ただ、その中で2回とも強く出たのは位置の問題。

市が位置の問題について、こういう理由でここに決まったということ
を市民に分かりやすく説明してほしい。

(会 長) 縮小は、市というより基本計画に進む段階で受注の業者等含めて
専門的に検討されていくと思う。位置の問題は、資料や骨子でもか
なりの部分を割いて説明してあるが、それでもなかなか納得しづら
い部分もある。決まったことなので説明を尽していくしかないとい
う感じがする。

(委 員) 基本的な考え方は、前懇話会で出された意見を上手くまとめ上げ
た印象を受ける。ただ表現が抽象的なので、基本構想から基本計
画を作っていく時に、具体的な可能性というのを本当に盛り込む
ことができるのか。例えば、サステナブルだと木造にする可能性
があるみたいな表現。基本計画になった時に、委員から出た具体
的な発言が消えてしまうことを懸念している。具体的部分をでき
るだけ言葉に残していくべき。具体的に提案した内容についても、
こういう可能性があるのではというものを盛り込めないか考えて
欲しい。

(会 長) 私も構想が計画になるに従って、市民の意見が消えてしまうこ
とを懸念はしている。懇話会の意見が反映できるような仕組みを
作ってもらえるものと思っている。基本計画の段階になれば具体
的なアイデアを出してもらえるとと思う。基本計画に入れ込んで
いくようにしないと、逆にこの会の意味がないと思うので、その
辺を事務局と考えていきたい。異なる意見もあるので、木造とい
うアイデアを骨子の段階で入れるのは難しい。

(委 員) 基本的な考え方のところは抽象的になっている。自分が気になっ
ている分野は、マイノリティの合理的配慮の面や、子育て対応にな
っていないという面。これは、基本的な考え方のユニバーサル
デザインを実現した庁舎に含まれるのか、それとも、人口減少社
会を見据えた庁舎とかその辺に入るのか、どこにカテゴリが入る
のか分からない。

(会 長) マイノリティや子育ての配慮は、懇話会で合意が得られていた内
容だと思うので、もう少し踏み込んで、基本的な考え方に入れて
もいいような私は気がする。また後でその辺を議論できればと思
う。

(委 員) 庁舎と同時に全体の景観というか、佇まいが松本城やこの周辺と
調和して欲しい。

(会 長) 松本城と調和する庁舎だけでは少し伝わりにくいものがある

ということか。例えば代案はあるか。

- (委員) 景観的に緑も必要。調和という言葉が非常に抽象的
- (会長) たしかに景観という言葉が今回入っていない。
- (委員) 景観という言葉があると良いと思う。
- (会長) 調和は色々な意味合いがあると思う。
- (委員) カンファレンスを開く際など、今でもなかなか部屋がないこと、新庁舎は、高さ制限で更に狭くなるので、具体的にどうなるのか心配。先日の説明会では、場所に納得していない人が多かった。
- (会長) 市役所はどういう機能を備えるべきかという機能論に通ずるところがあるかも知れない。市民のニーズに合った機能みたいなものが、どこか言葉として反映出来れば良いと思う。説明会は、参加者が少なかった。そこで出された意見が、市民全体の意向と言えるのか、考える必要がある。
- (委員) 今までの懇話会の意見が集約されて上手く文章化されている。もう少し松本市らしさをどこかに反映させて欲しい。わくわくするような何かがあると市民にも説明しやすいと思う。松本大学の学生たちに骨子案について聞いたところ、意外と、経過よりも将来どうしていくのかの方に、学生たちは興味があるように感じた。市役所の職員が、より健康で生き生きと仕事に従事できるという部分を求めるには、ハード面よりソフト面の方が大事
- (会長) 松本らしさは松本城だけではないので、その辺がなんとなく削がれたような気がしないでもない。色々と松本の特徴はあるが、パッと見て松本市役所の構想だと分かる内容でも良いと思う。例えば、「(2) 松本城と共に時を刻む庁舎」の中の「ゆとりとやすらぎ」を感じる辺りに、松本でなければ出ない言葉が入っても良い気がする。
- (委員) 骨子には、この場所を選定した理由は書いてあるが、敷地拡大の可能性についての説明が抜けている。用地買収の可能性はあるか。
- (委員) 高さ制限について、15m以上は景観事前協議が必要と書いてある。そういう配慮をするのであれば、15m以内で最初から建てるのが筋なのでは。
- (事務局) 基本構想は色々な意見を出して収斂していくもの。あまり細かいことではなく、大枠をまとめるための土台
- (委員) 最終的にこの懇話会でどこまでの内容を詰めていきたいのか気になっている。規模や予算に関してどの程度話し合っていくのか。射程について。
- (事務局) 任期は、基本計画の策定まで。

- (会 長) できるだけ我々も、出てきたものを単に承認するだけでの会にはしたくはないと思っている。基本構想はあくまで抽象度の高いものなので、具体的なことを書き込みすぎると後のことを縛ってしまう。
- (委 員) ロードマップの中で、基本計画と同じ時期にP F Iの導入可能性調査が示されているが、可能性があれば、P F I導入前提で基本計画を策定するのか。民間施設を作ることで、今の限りあるスペースをさらに圧迫しないか。計画に影響しないか気になる。
- (会 長) まさにP F Iを導入するか否かでかなり内容が変わってくるはずなので、早い段階で結論を出していくべき。
- (委 員) 基本計画には、具体的な案をもっと盛り込んでくれると若い人にも分かりやすいと思う。学生や若い人は、面白い意見を持っているので取り込めたら良い。
- (会 長) 何かここを変えたらいいと思うものはあるか。
- (委 員) 若い人よりも利用機会の多い人に向けたユニバーサルデザインなどを考えた庁舎にしていく方が使いやすいと思う。
- (委 員) お城から見た市役所をイメージしていなかった。また、イベント会場や災害発生時の避難場所になるので、空きスペースがたくさん欲しい。調和という部分を保ちながらも、その辺りを考え直すべき。原付以上のいわゆる中・大型バイクの置き場が欲しい。
- (会 長) お城については、見る・見られるという両方の視点が必要。やはり基本計画(2)の「調和」・「発展に貢献する」・「ゆとり、やすらぎ」のところの抽象度が高すぎる気がする。
- (委 員) あまり縛りすぎない方が良い。自由度がないと設計者が困る。実際に空間を考えないと分からないし、意見を出し合うだけでは次が見えてこないなので、そこを分かりやすく議論できるようにするにはどうしたらいいか、考えていく必要がある。一般に、市役所はよく分からないと思うので、市役所を知ってもらえる何かをやっていったほうが良い。議会と市民とのより良いコミュニケーション関係が、空間を反映させるのに大事になる。
- (会 長) 従来の説明会のような一方的に知らせるような機会だけでなく、自発的に知ってもらうような機会をどうやって設けていくかが行政側の課題になってくる。基本構想、基本計画、設計までをどのように繋いでいくかが重要な課題
- (委 員) 大事なのは、どういうプロセス設計をしていくかということと、どういう人を配置できるかということ。そこをきちんとフォローし

てほしい。きちんと考えられる人がある程度いたほうがしっかりした議論ができると思う。

- (会 長) 市役所の実施体制までは構想には書くことは難しい。
- (委 員) 役所の機能と観光スポットという考えを切り離す必要がある。観光スポットは松本城。役所の機能は、「松本城がない」という前提で考える必要がある。ここで本当に必要なものをしっかり考えなければならない。
- (会 長) どうやって市民とコミュニケーションを取っていくかが大きな課題。(5)の働き方改革、健康経営は、ここ数年のトピックのように感じるが…。
- (副会長) 骨子は、1～3回目の内容が非常によくまとめられている。移転費用のかからないような事業は、早めに支所や出張所に展開して、支所や出張所を見たら、この延長線上が本庁舎があると思えるようにしたらどうか。市役所の建設について、今こういう風に進んでいると説明しても、具体性がないとなかなか理解されない。骨子の項目ごとに、重要事項について、分かりやすく柔らかい絵を入れてはどうか。市民がその資料を見ただけで、ここがポイントと分かるようにして欲しい。
- (会 長) これも市民とのコミュニケーションの在り方をどうするかということに関わる。骨子の中で、ここの部分はもう少し変えた方がいいと思うところはあるか。具体的に代案も含めて個別指摘していただけるとありがたい。
- (委 員) 骨子では、ハード面がほとんど語られていない。機能と景観を同時に考えなければならない。鉄筋の建物は相応しくないと思うが、皆さんはどうか。どうしても木造にしたい。木造の実績を調べたところ、かなりの建物ができていた。具体的には、市役所庁舎や5階建ての木造マンション。こういうのが木造でも可能なので、考える余地があるのではないかと思う。コスト面は、高くなる。木造ならいつでも壊すことが可能。これは鉄筋だと非常に難しいこと。
- (会 長) 計画の議論をするときは、もう少し突っ込んだリサーチをしないと議論や判断できないと思う。
- (委 員) 博物館もほとんどあの形で造られている。あのイメージが城下町の松本に合うか。機能的には十分だと思うが、建物についてはあまり語らないうちにあれだけのものになっている。
- (会 長) 公共施設の建築プロセスは、従来のやり方に問題があるというのは、おそらく我々も行政も認識しているところだと思う。考え方

の(2)あたりに踏み込んで、周囲の景観の一体性などの言葉を入れた方が良い。

(委員) 現地建て替えという前提にも関わらず、何人かの委員や市民説明会でも位置の質問が出ている。この案では、現地で建て替えなければならないということが市民に伝わらない。なんとなく都合がいいことを箇条書きしているだけというイメージ。ここでなければならないという熱い思いがない。将来のまちはこうあるべきだからここに建てたいということを書かないと、市民を納得させるのは難しい。説明会でもそういう部分を説明すべき。

(会長) 行政側も丁寧に説明されていると思うが、ここでなければならない理由がもう一工夫あると市民も納得すると思う。ここはもう少し頑張ってもらいたい。

(委員) 市役所自体が松本の象徴になるというような前向きな表現を付け加えるといいと思う。

(会長) 象徴性という言葉や攻めの言葉とか。

(委員) 基本構想には、遊びが必要。弾力的に書いた方が良い。

(会長) 無駄のないコンパクトな庁舎は切り詰めて切り詰めてというイメージ。もう少し冗長性があってもよく、縛り過ぎない方がいいという意見。最後に今後の進め方について事務局から願います。

(事務局) 今後の進め方について説明

(会長) これで第4回市民懇話会の議事を終了する。

(3) 閉会

政策課長あいさつ

副会長あいさつ

(事務局) 以上で、第4回市民懇話会を終了する。